

会 議 録

会議の名称	令和6年度第4回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時	令和7年2月20日（木）開会 09:30 閉会 11:30		
開催場所	つくば市立学園の森義務教育学校多目的室1		
事務局（担当課）	教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	高野 二男 野堀 憲 池邊 晃子	
		山崎 裕一 村上 義孝 中原 正人	
		内藤 実 石黒 正美 田村 俊介	
		富江 晃 中野 真粧美 牧之段 拓	
		樋口 直宏 澤木 努 谷上 智子	
	その他		
	事務局	社会教育主事：村上 和宏 地域連携教育指導員：酒井 和宏	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由			
議題	1 令和6年度学校評価アンケート結果について 2 熟議 テーマ「学園生の学びを支え見守る地域と学校の協働体制づくりについて～地域における後期課程のキャリア教育を考える～」		
会議録署名人		確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回までの会議内容の確認 4 協議 (1) 令和6年度学校評価アンケート結果について (2) 熟議 テーマ「学園生の学びを支え見守る地域と学校の協働体制づくりについて～地域における後期課程のキャリア教育を考える～」		

5	その他 ・学校と生涯学習推進課から諸連絡
6	閉会

<p><審議内容></p> <p>1 開会 (村上座長) ただ今から、令和6年度 第4回 学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議を開会します。 はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。学園の森義務教育学校 田村先生 をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。 →田村先生 承認 →お引き受けくださりありがとうございます。</p> <p>2 挨拶 (村上座長) 挨拶に移ります。はじめに、座長の私から御挨拶させていただきます。 ・ 協議会の前段となる推進会議は本日で終了。次年度は正式に協議会となる。 ・ 大穂中でも兼任しており、推進会議ではより具体的な議論を行っている。</p> <p>続きまして、学園長の中野校長先生お願いします。 (中野校長) ・ 今年度最後の推進会議。これまで頂いたたくさんの御意見を学校で取り組んだ。キャリア教育で活用。人材バンクの充実。 ・ 気候が不安定なときは下校が心配。先日の強風時には近隣校と相談。教員のパトロール、中学生は自転車を置いていくなどの対応をした。緊急時の対応は学校では難しいところもある。 ・ 体力作りでは縄跳びや筑波大協力のマルチスポーツなどを実施。NHKの取材も入った。子どもたちは運動に自信を付けている。 ・ 「早寝早起き朝ご飯」文科大臣表彰式に出席した。バランスの取れた食事、睡眠の充実などの推進が評価された。</p> <p>3 前回までの会議内容の確認 (村上座長) 本日は、学園の森義務教育学校の第4回CS推進会議の熟議等に入る前に、まずは第3回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。 前回の会議録を御覧ください。 ①まず、3年生の福来みかんの皮むき体験を通した地産地消の学習の様子を参観しました。 ②また、熟議では「7学年のキャリア教育における新たな視点」をテーマにし</p>	
---	--

て、取組の課題や新しいアイデアなどについて話し合いを深めました。
なお、詳しい内容に関しては、教育委員会のHPに掲載されていますので御確認
ください。

4 協議

- (1) 令和6年度学校評価アンケート結果について
- (2) 熟議「学園生の学びを支え見守る地域と学校の協働体制づくりについて～
地域における後期課程のキャリア教育を考える～」

○学校評価アンケートについての説明（池邊教頭）

- ・ アンケート結果資料参照。実施時期は保護者が12月～1月初旬、学園生は12月。
- ・ 「学び合い、高め合う」、「授業の工夫」の評価が学園生、保護者とも高い。学校の取り組みが伝わっている。
- ・ 「家庭学習をよく行っている」の評価が低い。宿題の量や方法についての御意見が多い。デジタルドリルの賛否両論もある。学園生の様子を見ながら、デジタルドリルと紙ドリルのバランスを重視していきたい。
- ・ 「心豊かで社会力のある」の項目は昨年度同様に高い。上級生のプレゼンにより、学校が一体となって掃除ボランティアなども実施している。
- ・ 「子どもたちの悩みや相談を受け止め、ていねいに対応している」では、保護者の「わからない」の回答割合が高かったが職員は丁寧に対応している。オンラインの窓口も案内している。
- ・ 「学校は体力の向上に努めている」の評価が低い。縄跳びやマルチスポーツなど学校の取組が家庭に伝わっていない。取組を発信したい。小学校の運動会は2学年ペアで実施していることが奏功している。上級生が下級生をサポートするなど、助け合っているところが良い点。職員同士も協力し合っている。
- ・ 「地域とともに歩む学校づくりに取り組んでいる」の評価が低い。学校としてもっと発信、アピールしていきたい。CSが核にある。地域に根ざした学校づくりのためにも、来年度も引き続きお願いします。

（村上座長）

これより熟議に入ります。熟議を進行するにあたり、ファシリテーターを中原先生にお願いしたいと思います。

（中原教頭）

- ・ テーマ「今後の地域連携」とする。地域人材の活用、具体的な取り組みについてアイデアを出し合う。
- ・ 40分間で模造紙にまとめた後、各グループから発表。
- ・ 地域関係のアンケート結果では、なかなか保護者に伝わらない部分もあり、数値として厳しい部分もあるが、外部人材の活用で来年度以降は期待できる。
- ・ 7年生のキャリア学習では段取り、コーディネートが課題となった。

- ・ 市の予算を含めてのアイデアも出してほしい
- ・ 進行役中心に熟議を開始する。

<熟議の内容共有（各グループ毎の発表）>

①Aグループ（中原教頭）

- ・ さまざまな場所から、新しい人が多く住む、この地域独特の難しさがある。まずは地域作りが重要である。
- ・ 横の繋がりなど、ネットワークを作ることの難しさがある。誰がコーディネーターするのかが見つければ、地域化がじわじわ進むのかもしれない。

②Bグループ（澤木副校長）

- ・ 強みと弱みで分析した。
- ・ 強みは、保護者の専門性と多様性。筑波大との連携である4年生体育のラグビー、マルチスポーツ、早寝早起き朝ご飯事業がある。他の分野でも様々広げたい。
- ・ 弱みは、働き世代が多く、日中は忙しい。下校見守りで心配なこともある。有償ボランティアや民間委託も検討する。

③Cグループ（牧之段教諭）

- ・ 低学年で主に社会科、高学年ではつくスタで地域連携できている。中学生では、予算組みの中で弁護士や裁判官に講演してもらうことも案の1つである。
- ・ 職場体験で学園生のニーズに応じきれていない。地域リソースとのマッチングや募集方法が重要である。
- ・ 地域の探究学習を深めるコーディネーターが必要。

④田村教諭

- ・ 「発信方法」、「分析」、「活動内容」で議論した。
- ・ 「発信方法」では、活動報告の配信だけでなく、紙での配付も有効。授業参観でのアピールなどが考えられる。
- ・ 「分析」では、「保護者は地域連携に何を望んでいるのか」を明らかにする必要がある。
- ・ 「活動内容」ではいかに多くの保護者に来校して頂けるかが重要。保護者にいる元オリンピック選手やプロ選手の講演会も効果的である。

（中原教頭）

様々な御意見を来年度の協議会につなげていきたい。

5 その他

- ・ 学校と生涯学習推進課から諸連絡

(村上座長)

最後に御出席のみなさんから何かありますでしょうか。

(池邊教頭)

令和6年度の推進会議について、全日程を終了いたします。本年度、4回のコミュニティ・スクール推進会議の実施に際しまして、御協力ありがとうございました。来年度はコミュニティ・スクール協議会として新たなスタートを切ることになります。なお、委員の選出に関しては、1年ごとの任期となるため、後日御連絡させていただきます。その際は、本年度活動してみたの感想や、御都合等も踏まえまして、お話を聞かせていただければと思います。よろしく願いいたします。1年間会議の運営に御協力いただき、ありがとうございました。

(事務局)

今年度、学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議に御協力いただき、ありがとうございました。

- ・ 来年度の協議会では今年度の内容を深めていく。
- ・ 今後は、子どもたちをこんな風に成長させたい、活動がどんなものか見えるようにすることが必要。
- ・ コーディネーターがいれば理想だが、少しずつ集まればよい。
- ・ 吾妻学園でゲストティーチャー講演会を授業参観で実施。保護者も聞くことにより、話を進める方法が見える。その後、保護者が講演してくれる率が上がる。
- ・ 幼稚園では地域行事での保護者の参加率が高い。しかし小学校にあがると少なくなる。小学校1年生の保護者への依頼はチャンスありかもしれない。

委員の皆様の机上にコミュニティ・スクール推進会議に関わるアンケートをお配りいたしました。今年度、一年間の活動を振り返るとともに、今後のコミュニティ・スクールのより良い在り方について御意見を頂戴したいと思います。QRコードを読み込んでいただき、御回答いただくか、この場で御記入いただき、お帰りになる際に事務局まで御提出いただきますようお願いいたします。一年間大変お世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

6 閉会

(村上座長)

本日の「協議」の内容は、以上になります。

また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会HPにて写真を掲載させていただきたいと思っております。差し支えのある場合は事務局までお申し出ください。よろしく願いいたします。

以上をもちまして、令和6年度 第4回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議を閉会いたします。

令和6年度第4回学園の森義務教育学校
コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和7年2月20日（木）

9：30～11：30

場所：学園の森義務教育学校 多目的室1

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 前回までの会議内容の確認

4 協 議

(1)令和6年度学校評価アンケート結果について

(2) 熟議

テーマ 「学園性の学びを支え見守る地域と学校の協働体制づくりについて～地域における後期課程のキャリア教育を考える～」

5 その他

学校と生涯学習課から諸連絡

6 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和6年度第3回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和6年11月15日（金）開会 9:30 閉会 11:20		
開催場所		つくば市立学園の森義務教育学校多目的室1		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	高野 二男、野堀 憲、山崎 裕一、村上 義孝、内藤 実 石黒 正美、富江 晃、谷上 智子 樋口 直宏 学園の森義務教育学校 副校長：澤木 努 教頭：池邊 晃子、中原 正人 教務主任：田村 俊介 教務主任：牧之段 拓		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課 職名：係長 飯島 遊 社会教育主事：村上 和宏 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議「学園生の学びを支え見守る地域と学校の協働体制づくりについて～地域における後期課程のキャリア教育を考える～」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1	開会		
	2	挨拶		
	3	前回会議内容の確認		
	4	授業参観 3学年「福来みかん農家さんを招いてのみかんの皮むき体験学習」		
	5	協議 熟議「学園生の学びを支え見守る地域と学校の協働体制づくりについて～地域における後期課程のキャリア教育を考える～」		
	6	その他 コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について		
	7	閉会		

<審議内容>

1 開会

(村上座長)

ただ今から、令和6年度 第3回 学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議を開会します。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。学園の森義務教育学校 牧之段先生 をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

→牧之段先生 承認

→お引き受けくださりありがとうございます。

2 挨拶

(村上座長)

挨拶に移ります。はじめに、座長の私から御挨拶させていただきます。

- ・ 今日も竹園東中の職場体験を受け入れている（男子3名）。
- ・ 学校以外での活動の重要性 コロナ禍で辛い思いをさせたので猶更。
- ・ ロータリークラブの活動紹介（豊里中での講話 何十年も続いている）。

続きまして、学園長の澤木副校長先生お願いします。

(澤木副校長)

- ・ 本日5、6校時に7年生が地域の方を講師として呼んで話を聞く。
- ・ 地域人材の掘り起こしが前回課題となった。多種多様な保護者がいるので、学校教育に力を貸して欲しいと思っている。
- ・ 運動会、体育祭全4回が先日無事全て終了。
- ・ 11/21に響森祭（合唱コンクール）、それが終わると大きい行事は一段落。9年生は受験に向けて準備が本格化。

3 前回会議内容の確認

(村上座長)

本日は、学園の森義務教育学校の第3回CS推進会議の熟議等に入る前に、まずは第2回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。では、進行に戻ります。別紙1（前回の会議録）を見てください。前回の要点をまとめますと

- ①学校の地域連携による学習の現状を田村先生から紹介いただきました。
- ②熟議として、第4学年のキャリア教育のために、地域が学校と連携してできる活動やアイデア、課題等について話し合いを深めました。

なお、詳しい内容に関しては、市のHPに掲載されますので御確認ください。

4 授業参観

- ・ 家庭科室へ移動し、授業を参観（3学年「福来みかん農家さんを招いてのみ

かん皮むき体験学習」)。

5 協議

熟議「学園生の学びを支え見守る地域と学校の協働体制づくりについて～地域における後期課程のキャリア教育を考える～」

(村上座長)

これより熟議に入ります。熟議を進行するにあたり、ファシリテーターを池邊先生にお願いしたいと思います。皆さん、よろしいでしょうか。

では、池邊先生よろしく願いいたします。

(池邊教頭)

・3年生の食育 栄養教諭の鈴木教諭が企画した。健康教育課のリストにあった観光コンベンション協会の方がゲストティーチャー(以下GT)に来てくれた。

・地産地消、観光協会の体験(皮むき、食べる)。他の学校でも同じ取り組みをしている。

・今回の熟議のテーマについて

→本日午後に7年生キャリア教育でGTの話聞く試みがある。

→新たな視点、アイデアがいただけるとありがたい。

・地域人財を活用した教育活動

→5年生(米農家)、6年生(ウェルビーイング)の事例紹介

・熟議のテーマは「学園生の学びを支え見守る地域と学校の協働体制づくりについて～地域における後期課程のキャリア教育を考える～」

・講師の募集の方法

→学校としては、様々な職種の方からお話を聞く機会をつくりたい

・7年生の学習内容

→7年生が知りたい内容をまとめておき、GTに送る

→その内容を中心に、質問を投げかけたり交流したりする対話中心の学習活動

→本日のGT10人(看護師、JAXAエンジニア等)

・机上の資料の右端にある「めざす子ども像」の共有

→文部科学省の資料より引用

～11:10まで各グループで熟議～

<熟議の内容共有(各グループ毎の発表)>

①牧之段教諭

・講師募集の締め切りまでが短いことが問題

→余裕があればもっとGTが集まったのではないか

・平日ではなく土曜日の方がよいのではないか

→来年度の授業参観の日程検討の際に考慮に入れる

→土曜日にすれば、保護者も来てくれてキャリアについて子どもと一緒に考え

る機会になるのではないか

②中原教頭

- ・キャリア教育においては学年間の「つながり」が大事なのではないか
- 8年生の職場体験に繋がるようなカリキュラムづくり
- ・職業観も大切なのではないか
- 様々な職業、働き方があることに触れる
- 生き方、のような部分にも繋がるのではないか

③田村教諭

- ・GTを多く呼ぶにはどうすればよいか
- 保護者のお知り合いなど、幅広く募集をかけていくとよいのでは
- OB・OGへの講師依頼（自校の先輩）
- 町探検の事業所にもアプローチ
- ・将来的には、GTからの提案や相談も受けられるようにしたい

（池邊教頭）

本日の7年生の授業の様子は、次回の会議で共有します。
熟議の内容は来年度の計画に生かしていきます。ありがとうございました。

6 その他

（村上座長）

最後にご出席のみなさんから何かありますでしょうか。（発言無し）
次回の開催予定日等について、池邊先生、よろしくをお願いします。

（池邊教頭）

本年度4回目のコミュニティ・スクール推進会議についてご連絡します。次回ですが、第4回は学園の森義務教育学校で令和7年2月19日（水）9時30分からの予定です。この4回をもって終了となります。詳細は、追って御連絡いたします。

7 閉会

（村上座長）

本日の「授業見学」「協議」の内容は、以上になります。
また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思えます。委員の皆様、よろしいでしょうか。よろしくお願ひいたします。

以上をもちまして、令和6年度 第3回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール推進会議を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

コミュニティ・スクール協議会(推進会議)に関するアンケート(学園名:) どちらかに○(地域住民・教職員)

項目	あてはまる部分にチェック(○)を入れてください	あてはまる	どちらかという あてはまる	どちらかという あてはまらない	あてはまらない	判断できない
1	学校運営の基本方針の承認にあたり、協議会委員(推進会議の構成員)による議論を行う					
2	学校運営に関して率直な意見を述べる機会がある					
3	教職員の任用について提案や意見を述べる機会がある					
4	地域住民側からの意見や提案が持ち込まれることがある					
5	子どもの意見を反映させる機会や仕組みがある					
6	協議会(推進会議)内は、忌憚なく意見を出し合える雰囲気がある					
7	学校、家庭、地域全体で育てたい子ども像が共有されている					
8	校長等、教職員の異動に関わらず、継続して議論ができる体制がある					
9	協議会(推進会議)で議論すべき課題の選定、議論の企画段階から関わることもある					
10	学校側の提案事項を承認するだけでなく、より良い学校運営のために建設的に議論することがある					
11	協議会(推進会議)で決定して、実施した取組に対して、振り返りや内省を行う時間がある					
12	協議された事項の実行にあたり、学校長は期待される役割を果たしている					
13	議論の結果、各主体(学校・保護者・地域の大人等)が実行すべきこと・役割分担が明確になっている					
14	学校の問題や悩みは、協議会委員(推進会議の構成員)の中で共有されている					
15	協議会(推進会議)での協議内容について、十分な情報発信が行われている					
16	当事者意識をもち、学校運営に参画したと感ずることができる					
17	協議会(推進会議)への参加回数をご記入ください					回
18	その他 ご意見があればご自由に記入してください(裏面もご使用ください)					